



那賀町の子ども食堂



紹介

子ども食堂とは、子どもが一人でも行くことのできる無料または低額の食堂です。「地域食堂」「みんな食堂」という名称のところもあります。東京都大田区の八百屋の店主・近藤博子さんが、店の一角で2012年に始めた「だんだんワンコイン子ども食堂」が発祥だとされています。子ども食堂の件数は年々増加しており、2024年2月時点で全国で10,867か所あります。(参照：認定NPO法人 全国子ども食堂支援センター・むすびえ)

まんなかの学校 (那賀町和食郷) 🍴

令和5年に町内初のフリースクールとして設立。自然を学びくらしを楽しむ事業を展開しています。子ども食堂は、毎月第2火曜日(12:00~13:00)に開催。一汁一菜季節の食事を提供。子ども300円/大人500円 ※事前予約が必要です



あいあい食堂 (相愛館) 🍴

令和7年にスタートしたばかりの子ども食堂。不定期で開催(11:00~なくなり次第終了)。地域団体とのコラボなど、工夫を凝らした形態で開催。※メニューによって金額は変わります。

えん・くろ〜ば〜 (木頭文化会館) 🍴

令和5年から実施。主に木頭地区の親子、会場近くの住民の方が利用しています。毎月第3土曜日(12:00~14:00)に開催。子ども無料/大人300円 ※事前予約が必要です。



あかいかキッチン (北川公民館) 🍴

チームあかいかもが、木頭北川地区を中心に毎月1回、お弁当で食事を支援。子ども無料/大人300円

子ども食堂のメリット (出典：「子供食堂向けアンケート調査」)

誰かと食事ができる

一人でごはんを食べる「孤食」になりがちな現代において、子ども食堂では地域の高齢者やボランティア、同世代の子どもたちと一緒にアットホームな雰囲気の中で食事することができます。「共食(きょうしょく)」の機会を持つことで、健康や食生活に良い影響をもたらすことが期待できます。

無料または安価であたたかい食事ができる

子ども食堂は無料または安価で食事を提供しているので、誰もが利用しやすくなっています。さまざまな食事提供の形態があり、手作りであたたかく栄養バランスまで考えた食事が提供されていることもあります。

地域のつながりができる

子ども食堂では、子ども同士、親同士でもコミュニケーションを取ることができ、子どもから高齢者まで皆で楽しく食事をする場としてだけでなく、地域の居場所としての役割も担っています。子ども食堂を開催している地域住民などの大人にとっても同様です。

